

# 志学地区での集いの場の設立について

平成31年度から、地区内に2つの集いの場が新たに立ち上がることとなりました。



## ■ 志学ほっといどばた (高齢者通いの場)

### ○ 設立の経緯

- ・大田市が設立を進める、地域での介護予防のための集いの場について、市内で順次立ち上げが進む中、志学地区では、コーディネーターの確保が課題となり、設立がされていない状況でした。
- ・現場支援地区選定当初から、志学地区として「高齢者の通いの場を始めとする生活サポート事業」を取組内容として考えられていたことから、まちづくり協議会福祉部で検討を開始することとなりました。

### ○ 検討の様子

- ・まちづくり協議会が主体となり検討を始め、地域住民の中からコーディネーターなど運営ボランティアの確保がなされました。
- ・先進他地区への視察や、ボランティア向けの研修会等の準備を重ね、平成31年度から週1回、35名の利用者のもとスタートします。



市社協からの説明会。  
多くのボランティア  
が集まりました！

# 志学地区での集いの場の設立について



## ■ SETにここ教室 (放課後子ども教室)

志学中学生の協力のもと、  
S:志学の子が  
E:笑顔になれる  
T:ところ と名付けられました！

## ○ 設立の経緯

- ・志学地区には放課後児童の預かりの仕組みがなく、他地区へ転出をした事例もあり、仕組みづくりが課題となっていました。
- ・まちづくり計画策定に向けた住民アンケートの際にも、「切実な問題」と意見があり、まちづくり計画策定時のワークショップ参加者を中心に検討を開始しました。

## ○ 検討の様子

- ・当事者である子育て世代が中心となった検討メンバーを、地区内関係団体等への依頼等まちづくり協議会会長が支援する形で準備を進めました。
- ・30名近い地域ボランティアの方の協力もあり、平成31年度からまずは週1回、利用希望者の放課後預かりを開始します。



保護者への説明会。  
意見交換をしながら、  
一緒に作り上げて  
いっています！